

特長

- 高性能樹脂「エポキシアクリレート樹脂」の採用により、優れた固着力を発揮
- 非スチレンモノマーの採用により、いやな臭いが減少
- 粒状硬化剤をカプセル全体に分散させたことで、ボルト打設時の樹脂との混合ムラを解消
- 壁面、天井面にも施工可能

【用途】

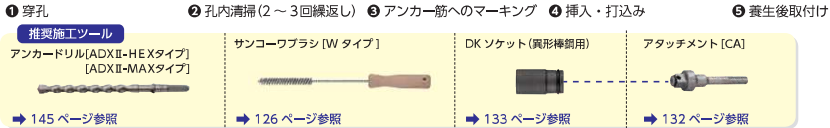
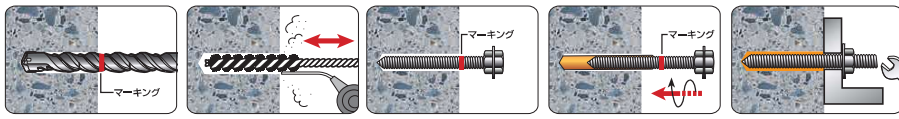
耐震補強(鉄骨ブレース取付け) / 増設用差筋 / RC 壁・柱・梁補強 / 防音壁取付け
 落橋防止 / 橋脚補強 / 防錆材取付け / 堤防かさ上げ / シラ材・車止め取付け / 係船柱・係船環取付け / 防護柵取付け等

コンクリート用 / 回転・打撃型

HP



施工方法



▲ 施工上の注意

- 打込み後、樹脂の硬化時間は温度によって異なりますので、右表を目安にしてください。また、硬化時間内は、ボルトや異形棒鋼を動かさないでください。
- 壁面・天井面に施工の際は、液ダレにご注意ください。
- 使用期限(製造より2年)を必ず守ってください。

・硬化時間の目安

温度(℃)	-5	0	5	10	15	20	25	30
硬化時間(分)	240	120	60	40	20	18	15	10
	水中	240	120	80	40	36	30	20

※この硬化時間は、最大強度80%程度の強度を発揮するまでの目安の時間です。

強度表

HP タイプ

ボルト	品番	単位: mm		単位: kN		異形棒鋼	品番	単位: mm		単位: kN	
		穿孔深さ	許容引張荷重(長期)	許容引張荷重(短期)	穿孔深さ			許容引張荷重(長期)	許容引張荷重(短期)		
M10	HP-10	90	9.4	14.2	D10	HP-10	90	12.0	18.0		
M12	HP-12	100	13.7	20.6	D13	HP-12	100	15.1	22.6		
M16	HP-16	130	25.4	38.1	D16	HP-16	130	25.4	38.1		
M20	HP-20	200	38.3	57.5	D19	HP-20	200	52.8	79.2		
M22	HP-22	250	47.4	71.2	D22	HP-22	250	69.8	104.7		
M24	HP-24	300	55.3	82.9	D25	HP-24	300	88.1	132.2		
M30	HP-30	350	87.8	131.8	D32	HP-30	350	118.5	177.8		
M20	HP-20E	160	38.3	57.5	D19	HP-20E	160	38.3	57.5		
M22	HP-22E	180	47.4	71.2	D22	HP-22E	180	48.6	73.0		

・ボルト材質、種類、コンクリート強度、埋め込み条件によって許容荷重は異なりますので、実際の施工条件に従って強度計算を実施してください。
 ・許容引張荷重は、メーカーの計算式による計算値です。(コンクリート強度 $f_c=21\text{N/mm}^2$ 、M ねじ(SS400)、異形棒鋼(SD295 (D19以上はSD345))

アンカーボルト引張試験機 テクノテスター



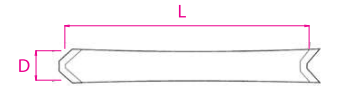
AT-200/最大荷重 200kN
 → 136 ページ参照

D 筋チャック



A セット B セット C セット
 → 140 ページ参照

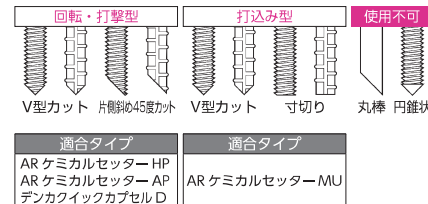
サイズ表



HP タイプ フィルムチューブタイプ 非スチレン系エポキシアクリレート樹脂

カプセル径 D	品番	全長 L	容量 cm^3	使用ボルト 異形棒鋼	穿孔径	穿孔深さ	単位: mm		標準価格 (税抜き)
							入数	単位: 本	
10.5	HP-10	120	6.4	M10	12.0	90	25	1,000	230
				D10					
12.0	HP-12	130	9.6	M12	14.0	100	500	340	
				D13					
15.0	HP-16	150	18.4	M16	18.0	130	200	560	
				D16					
18.5	HP-20	210	41.4	M20	23.0	200	100	840	
				D19					
23.0	HP-22	250	77.7	M22	27.0	250	50	1,360	
				D22					
26.0	HP-24	300	120.0	M24	30.0	300	100	2,060	
				D25					
32.0	HP-30	310	190.0	M30	35.0	350	200	4,070	
				D32					
18.5	HP-20E	190	34.0	M20	23.0	160	25	820	
				D19					
22.0	HP-22E	200	56.0	M22	27.0	180	10	1,300	
				D22					

■ 使用ボルトについて



▲ 施工上の注意

- 接着部分となるところにねじ切りのあるボルトまたは異形棒鋼を使用してください。
- 先端形状は左図をご参照ください。
- ボルトまたは異形棒鋼の寸切りタイプは、打込み型専用となります。
- 丸棒などは使用しないでください。

45度カッター DC-22T



- 接着系アンカーの施工用ボルト加工に最適
- 異形棒鋼なら D22・全ねじボルトなら M22 (W7/8) まで切断可能

→ 175 ページ参照